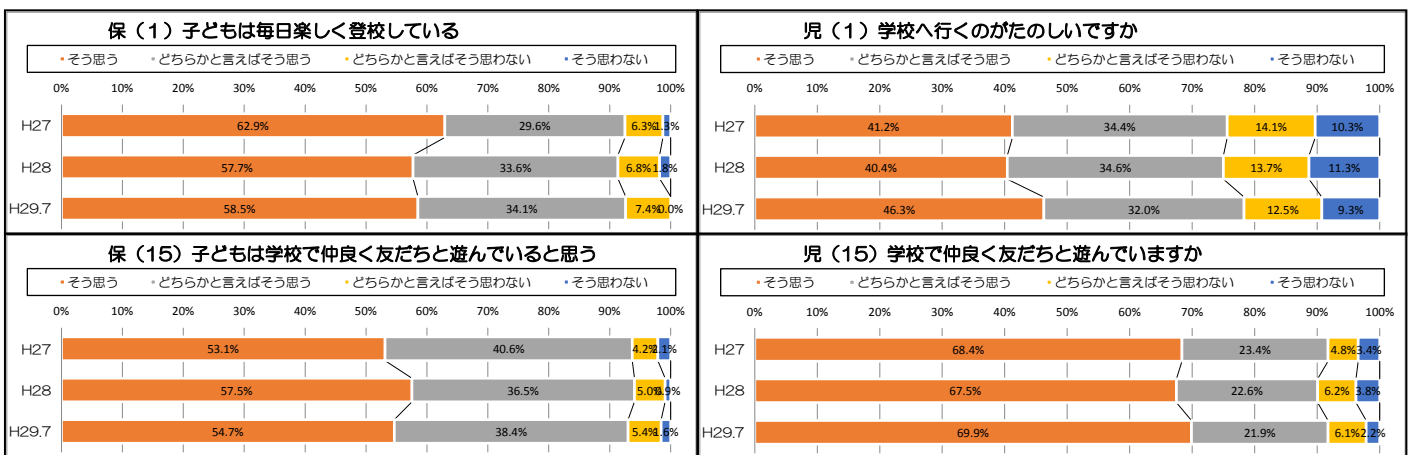


## 平成 29 年度 学校教育アンケート結果分析

鳥飼小学校では、保護者の皆様や児童の意識を把握し、学校教育活動の改善に努め、本校児童が学校生活を楽しくいきいきと送れるよう、年間 2 回（7 月、12 月）アンケート調査を実施しています。この度、その結果がまとまりましたのでお知らせします。

分析、考察については、①保護者、児童との大きく意識の差が見られるもの ②経年変化が大きく見られるもの ③継続的に変化してきているもの を中心に、分析と今後の方針を述べております。

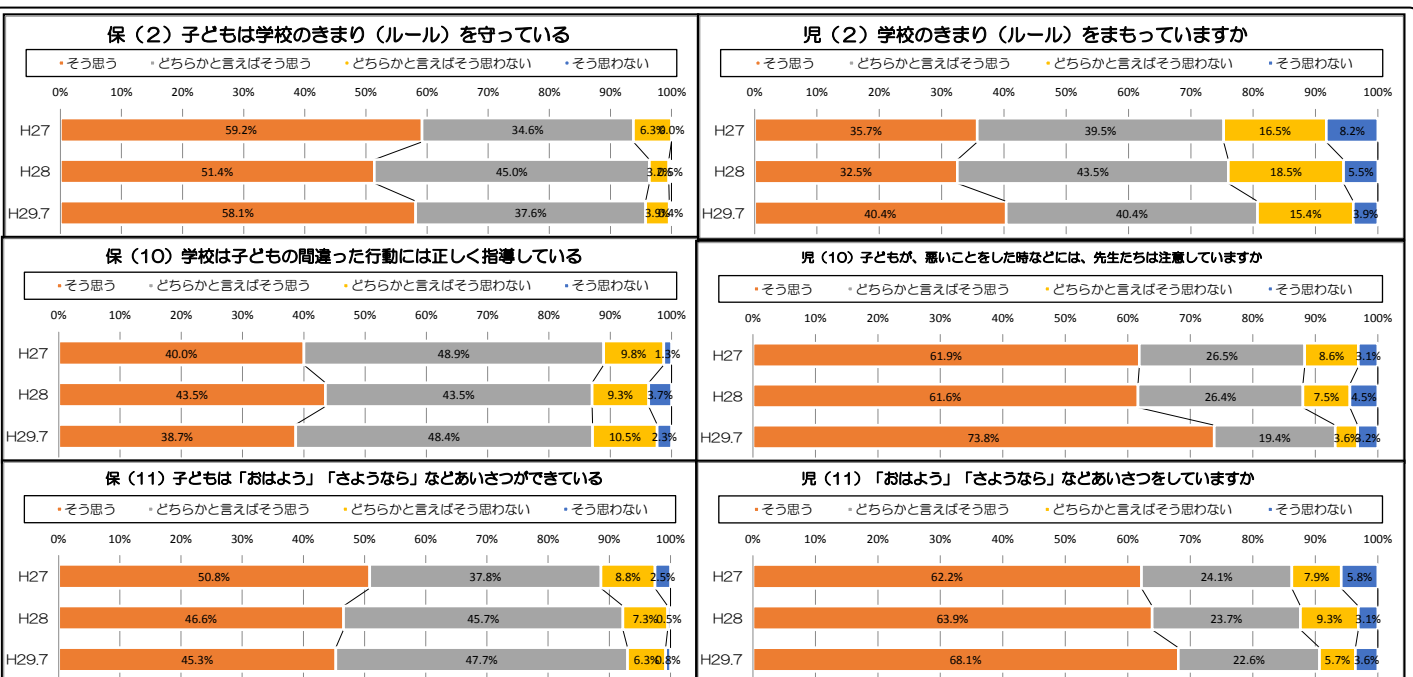
### ＜結果・分析＞



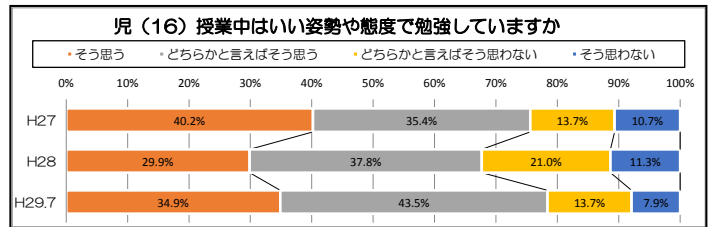
◇（1）保護者は、肯定的な回答が 90%を超えている。しかし児童は、肯定的な回答が増加しているものの、依然として「そう思わない」児童が 20%を超えている。

（15）児童は肯定的な回答が微増しているものの、保護者は微減している。

⇒児童の意識は向上してきているが、クラスの約 5 分の 1 の児童が楽しいと思わず、仲良く友だちと遊べていない児童が約 1 割ほどいる現状を深く受け止め、全校で集団づくり、人間関係づくりに力を入れ、児童一人ひとりの居場所をつくり、楽しいと思える学校づくりをめざします。

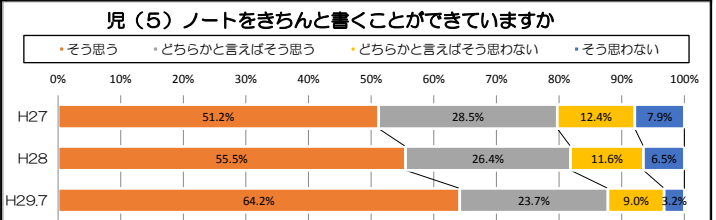
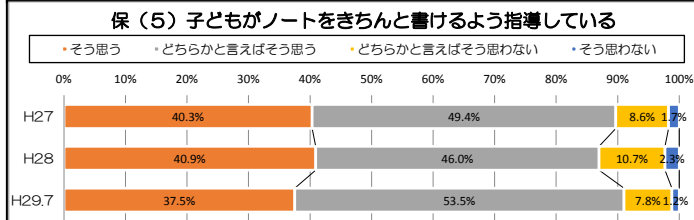
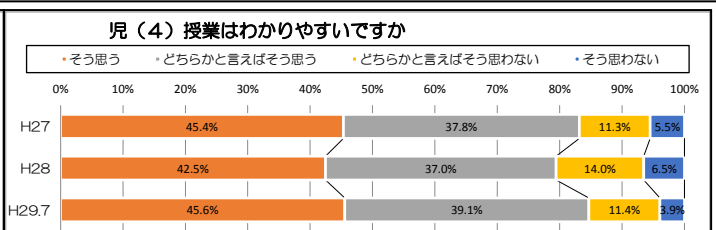
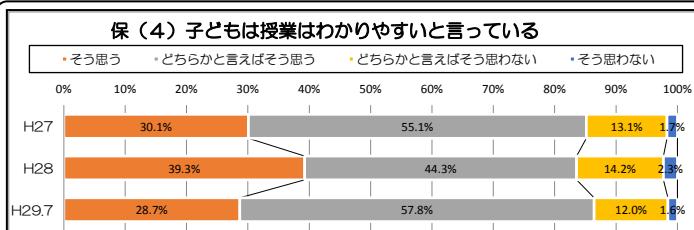
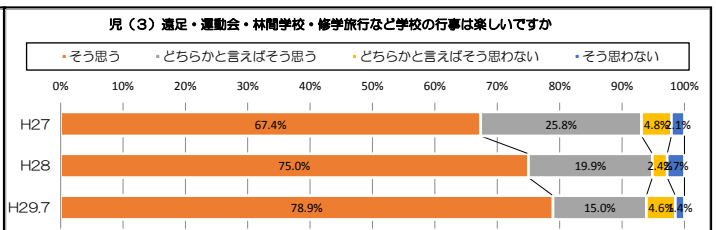
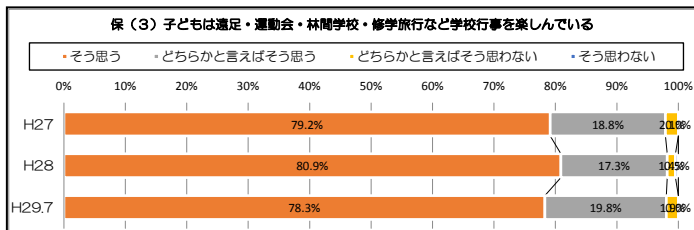


- ◇ (2) 「そう思う」保護者・児童が増加しており、「そう思わない」児童が継続的に減少している。
- (10) 「そう思う」児童が大きく増加している。
- (11) 肯定的回答の保護者・児童が徐々に増加している。(16) 肯定的回答の児童が大きく増加している。



⇒本校で行っている「あしへそはい」運動などの基本的な生活習慣の取り組みや組織的な生活指導の成果が児童に対して見られていると考えられます。今後も、「みてみて☆いいところ(価値語運動)」や「あしへそはい」運動などの取組みを中心に、正しい行動をしている児童を認めることを通して生活規律や学習規律に対する児童の意識を高めていきます。

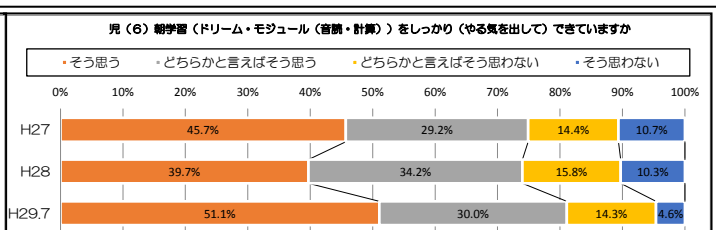
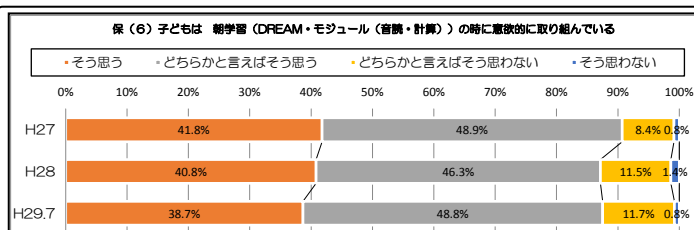
また、五中校区で小中連携した共通実践を通して、五中校区全体で、きまり(ルール)や学習規律の徹底について継続した取り組みを行います。



- ◇ (4) 保護者・児童ともに肯定的な回答が徐々に増加している。しかし、「そう思う」保護者が減少している。

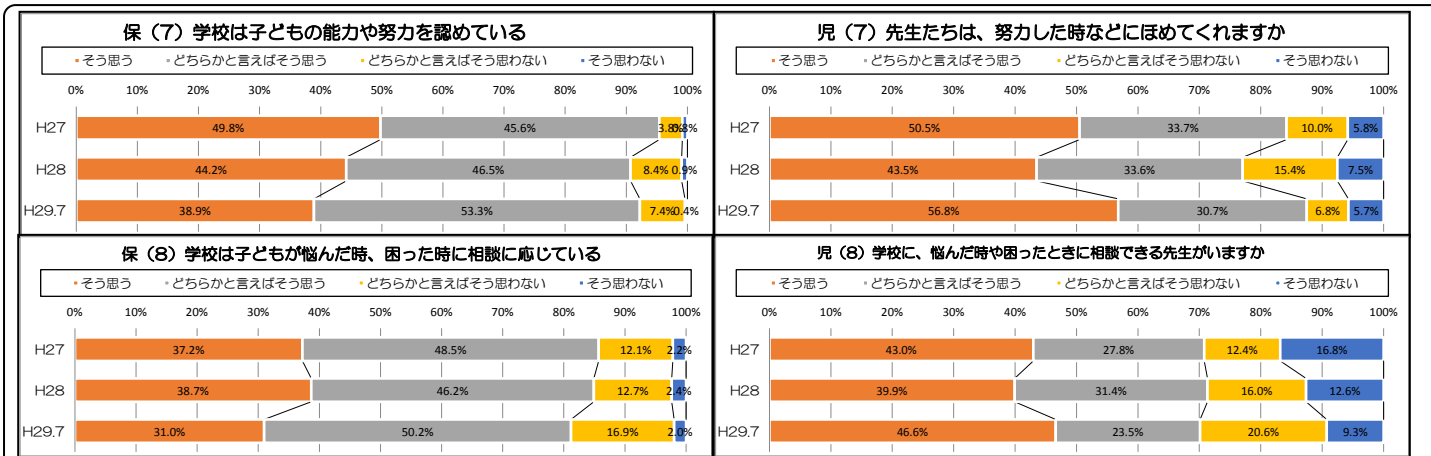
- (5) 「そう思う」児童が大きく増加している。しかし、「そう思う」保護者が減少している。

⇒本校の授業改善のベースである、ユニバーサルデザインの「視覚化」「焦点化」「共有化」の三つの観点を取り入れた授業づくりの成果が一定見られたと考えます。今後も、児童が「わかった。」「楽しい」と思えるよう継続した授業改善を推進し、児童の頑張っている姿や授業改善の取組み内容を「学校だより」や「鳥小アップあっぷ通信」、「Web ページ」等を通して、保護者の方々にわかりやすく伝えます。



- ◇ (6) 「そう思う」児童が大きく増加している。しかし、「そう思う」保護者は徐々に減少している。

⇒本年度より取り組んでいる DREAM（大阪府公立小学校英語学習 6 カ年プログラム）や摂津市データベース学習プリントを活用した朝学習の充実を図り、その成果等の情報発信に努めます。

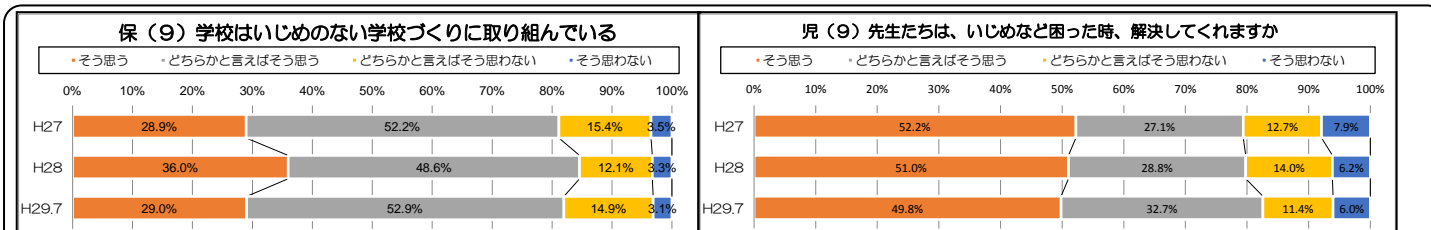


◇（7）「そう思う」児童が大幅に増加している。しかし、「そう思う」保護者は減少している。

（8）「そう思う」児童が増加し、「そう思わない」児童が継続的に減少してきている。しかし、保護者の肯定的回答が徐々に減少している。

⇒本校の各教職員が児童一人ひとりに向き合い、寄り添うことで、児童を肯定的に捉え、認め、褒めることができ、児童の自己肯定感や自尊感情の醸成につながってきたと考えられます。

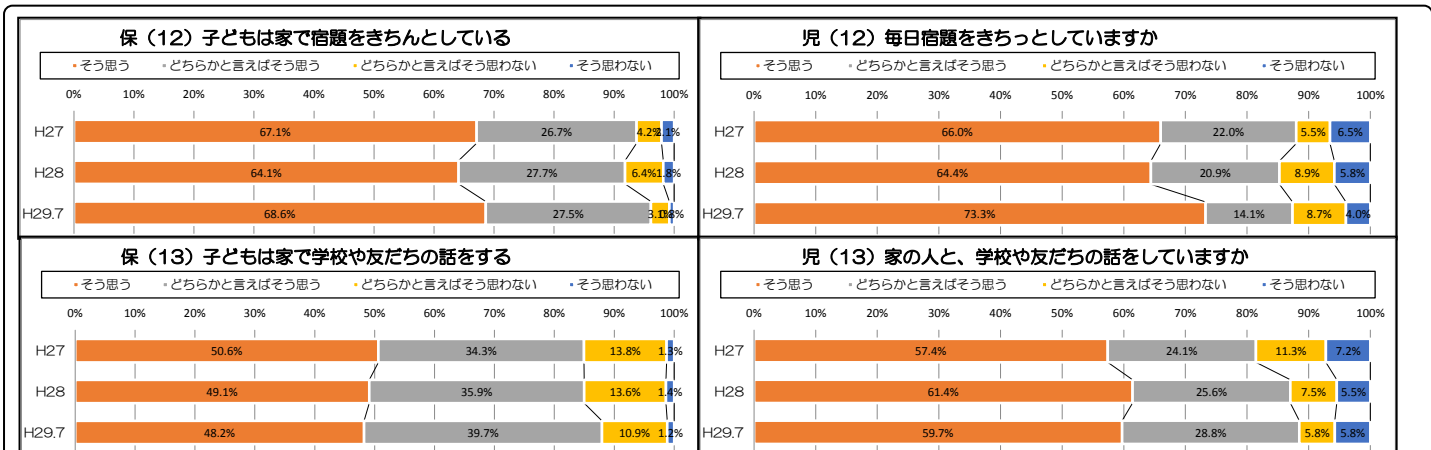
しかし、まだまだすべての児童が安心し、学校生活を送れるところまでは至っていません。各相談窓口の周知も含め学校全体として相談体制の充実や、教職員の意識向上を図り、より良い児童との人間関係を築いていきます。

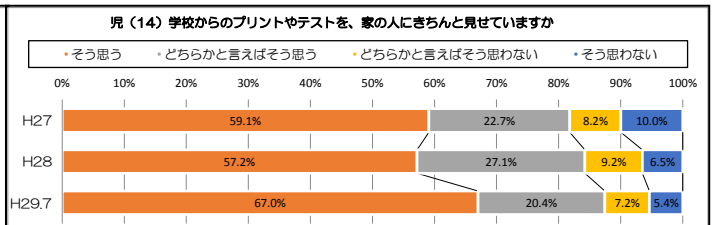
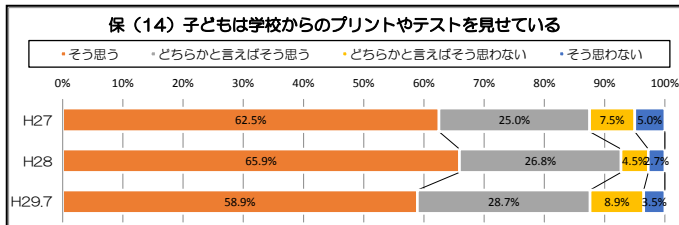


◇（9）児童の肯定的な回答が継続し増加している。しかし、保護者の肯定的な回答が減少している。

⇒学校生活の中で、いじめは絶対に許されるものではありません。本校では特別支援委員会を中心に、ケース会議を定期的に行い、組織的ないじめ対策、未然防止に取り組んでいます。

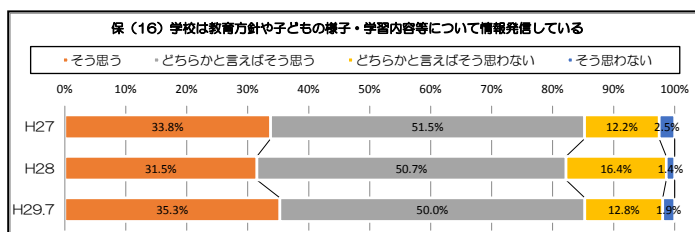
しかし、約5分の1程度の保護者・児童が否定的な回答をしている現状を深く受け止め、今後も、SC、SSW等と連携し、組織体制を強化したいじめのない学校づくりを行います。





◇(12)「そう思う」児童が大きく増加している。(13)保護者・児童ともに肯定的な回答が徐々に増加している。(14)児童の肯定的な回答が継続的に増加している。しかし保護者は減少している。

⇒大変お忙しい中、ご家庭で学校での学習内容、宿題、友だちの事など話をする時間を割いていただきありがとうございます。ご家庭でお子様との関わりを多く深めていただくことが、子どもたちの自尊感情を高め、この社会を「生きる力」の育成につながります。今後ともどうぞよろしくお願い致します。



◇(16) 肯定的な回答が徐々に増加している。

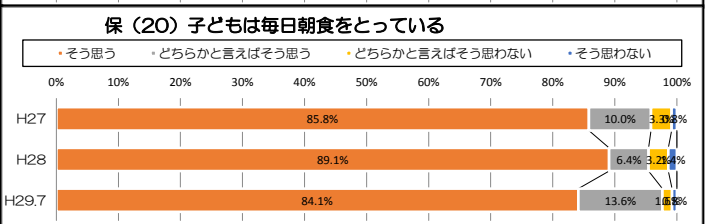
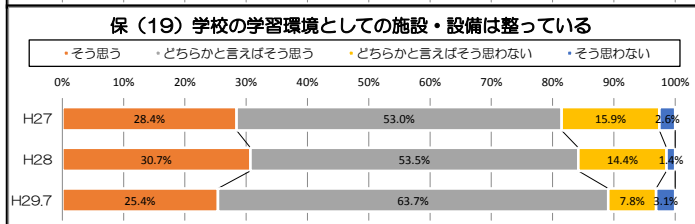
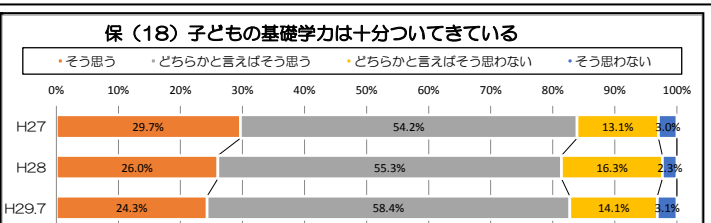
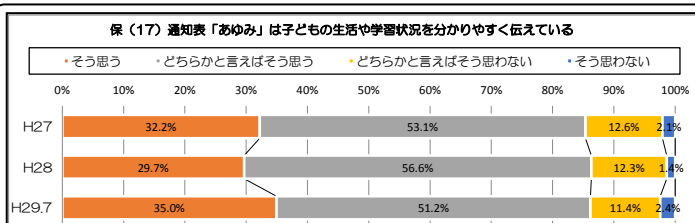
◇学校教育アンケートの回収率

H27 : 240/304 (78.9%)

H28 : 220/302 (72.8%)

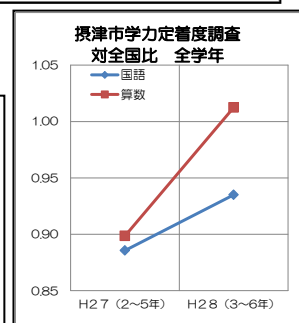
H29.7 : 258/286 (90.2%)

⇒アンケートの実施にご協力いただきありがとうございます。このようなアンケート分析結果を保護者の方々に返すとともに、今後も保護者の方々に学校教育活動について興味関心を持ってもらえるよう、「学校だより」「学年だより」「Web ページ」などの内容をふり返り、保護者の方々のニーズに沿った情報発信に努めます。



◇(18)「そう思う」保護者が継続して減少している。(19)肯定的な回答が継続して増加している。

⇒右記の様に、摂津市学力定着度調査結果を見ると本校児童の学力は向上してきており、本校の学力向上の取り組みは一定成果があったと思われます。しかし、(18)の結果を真摯に受け止め、次期学習指導要領で求められる学力や基礎的・基本的学力の定着のため、不断の授業改善や学力向上の取組みなどの定期的検証を行い、その内容の充実を図ります。



今回得られた結果は、これまでの本校の教育活動の成果と課題として全教職員で共有し、今後の教育活動の改善につなげていきたいと思っております。

今後とも本校の教育活動にご理解ご協力の程、どうぞよろしくお願い致します。